

毎月20日に  
新聞折込  
しています!!

# ドリーマー中村葬祭館 これを知って!!のコーナー

3人の子も達が部屋で騒ぎまわると家がギシギシと音を立てて揺れているのではと思うことがしばしば。家が老朽化してきたのかなとも思ったのですが子ども達を観察していると身体が成長して動くスピードだったり、物を投げたりするパワーが日に日に上がってきているのに気づかされました。そういえば、着れなくなった子供服を目にする機会も増えた気がします。時間が経って成長するのは何も子どもだけではなく、父親の僕も負けていません。油断して食べ過ぎると服のサイズが合わなくなってしまいます(笑)。子ども達と違うのはスピードやパワーは落ちていく一方といったところでしょうか(笑)。今月、誕生日を迎え30代最後の年になってしまいました。いままでのような何も考えない暴食はさけ、健康的な体を維持したいものです。そして子ども達がいろんな経験をして心身共に成長していく姿を見守ればそれで幸せです。ですが最近気になることがひとつ。物価が高くなっていることです。お弁当そのものの値段が上がっているのはもちろんですが、100円で買えるカップ麺がどんどん少なくなってきました。もうちょっとカップ麺の選択肢が増えればもっと幸せです(笑)。



○坂 拓磨  
○39歳3児の父!

## 元新入社員!坂(バン)が昼ごはんにまつわる

エピソードを綴る昼だけどバンメシ!のコーナー



## 復活!

## わかったら答えを書いてハガキで応募!クイズのコーナー!



日中でも汗ばむことが少なくなり何をしてもいい季節の到来です。今年は何処に紅葉を見にお出かけしようかな?このかわら版が出る頃にはもう紅葉の時期は終わっているかもしれませんね。さて、先月号のクイズは「全然何も欲しがることがない国は?」正解はイランでした。たくさんのご応募ありがとうございました。正解者の中から抽選で四万十市入田H様と黒潮町蜷川K様の2名にOCEAN&TERRE 至高 だし茶漬けをプレゼント!おめでとうございませう。ここで今月号のクイズです。「春・夏・秋・冬・一年の中で一番長いのはどれでしょうか?」答えが分かった方は郵便番号 787-0009 住所 四万十市佐岡 446 ドリーマー中村葬祭館かわら版 11月号プレゼント係までご応募ください。正解者の中から抽選で2名様に北海道スープ&ビーフカレーセットをプレゼント!ここでヒントです。必要のない方は読まないでくださいね。「問題文をよーく見て!選択肢は何個かな?」がヒントです。答えが分かった方はドシドシご応募ください。お待ちしております。世間一般の方々が紅葉を見に行く最大の理由は錦のようにきれいに色づいた野山を楽しみながら行楽弁当をおいしく食べる為だと勝手に思い込んでいる横山奈歩がお届けしました(笑)。

## 事前相談 の ススメ



○山本 良一  
○年齢 56歳

## 遺品整理 に ついて



○山本 純子  
○年齢♡歳

私達ドリーマーはお葬儀の事前相談をすることをおススメしております。理由は2つあり、まず1つ目は「もしもの時、慌てない為」。たださえ大切な人を亡くし精神的に動揺している中、冷静な判断ができませんでしょうか?何をしたいのかかわからず途方に暮れる事態に陥るかもしれません。事前相談をしておけば、お葬儀までの流れがわかります。そしてこの電話番号にかければ大丈夫といった安心を手にすることができるのではないのでしょうか。2つ目は「葬儀会社を比較できる」。まだ亡くなっていないのに葬儀会社を事前に選んでおくのは気が引ける事かもしれません。ですが猶予のある今だからこそ、葬儀会社を比較して選んでおくことができるとも言えます。高齢者が多いので階段のない施設がいい、膝が悪いのでベットがある方がいいなど細かな点も確認することが出来ます。私達ドリーマーは互助会の会社ですので事前に会員になって頂くことで割引がございませう。一度ご相談ください。

お葬儀が終わった後も役所の手続きだったり法要の準備だったりまだやらなくてはならないことが山のようにあり、気を休めることがままならない状況が続きます。私達ドリーマーはそんなご遺族様の心の重荷を少しでも軽くすべく傍に寄り添いお役に立ちたいと考えております。そんな中でも最近よくご質問を受けるのが遺品整理のご相談です。故人様が同居だった場合は悲しみが癒え、心に余裕ができるまでそっとしておいても問題はありませうが、故人様が一人暮らしをしていた親の場合などは、家が無人になってしまいますので早めに整理が必要です。遺品の片づけは引き継ぐ権利のある相続人が行うのが基本です。遺品は思い出の品だけではなく相続の対象となる物もあるかもしれません。身内が集まった際に話し合いながら進めることが重要でせう。

11月になり今年の終わりも少しずつ近くなって来ているように感じます。この記事を書いているのが月の始めで皆さんの手元に届くのが毎月20日、その間に色んな事があつたりなかつたりしますが、こうやって毎月皆さんにかわら版をお届け出来る事が元気でいる証拠だと思つて頂ければ幸いです。色んな事があつた1つとして、10月に四万十市に引っ越してきました。お客様と縁がありお家をお世話していただいたのですが、毎日の通勤がすごく楽になり朝もゆっくりできるようになり本当に良かったと思つています。今まで30分以上かけて通勤していたのですが、今は会社まで5分という距離になりました。1年間、毎日、宿毛から何も思はずに通っていたのに四万十市に住みだしてから、少し宿毛が遠く感じるようになりました。この記事のタイトルである「僕とフロントガラス越しの風景と日常」ですが、通勤時間も短くなったので変更しないといけなかつたりかもしれませんね(笑)。もう1つご報告として趣味であるギターのライブをしました。コロナの事もあつらずとできなかったのですが、久しぶりに小さなライブが出来ました。ギター1本でステージに上がり歌う、いわゆる「弾き語り」といわれるもので案の定、緊張してしまい上手くできなかった所もありますが、僕の大好きな吉田拓郎の曲を弾くと一緒になつて歌つてくれたりして本当に楽しい時間になりました。参加していただいた方、本当にありがとうございます。まだまだ、コロナには気を抜けない時もありますが、少しずつ普段の日常が戻りつつあるような感じがします。



マスクなしで生活できる日が早くこないかな。

## 新人!小橋が出勤時にふと感じたことを語る 新コーナー「僕とフロントガラス越しの風景と日常」



○趣味はギター



## 1.もしもの時あわてないように 事前にできる事

葬儀会社に事前相談をして見積をとる事をオススメします。私、山本は丁寧な敬語は苦手ですが幡多弁を駆使して一生懸命ご説明します。葬儀会社を比較して選択しておく。とても重要なポイントです。



## 2.事前にドリーマーと決めていたら

ドリーマーに電話(24時間対応)→担当者と打ち合わせ→担当者が見積を作成。この段階で大体の葬儀代金がでます。ここで予算が合わないようでしたら、再度ご希望に合うようご提案させていただきます。なのでご希望の金額でお葬儀が可能です。



あとがきにかえて

落ち葉が風に舞う季節を迎え、気づけば日足もすっかり短くなりましたがお変わりなくお過ごしでしょうか。読書の秋ということで図書館に足を運び「画家の食卓」という本を手にしました。ゴッホやモネ、歌川広重などさまざまな画家たちが口にした何気ない食事や特別な意味をもつ食事まで、さまざまな写真とともに紹介されていました。読書の秋、食欲の秋、芸術の秋と呼ばれるこの季節にぴったりで、私のお気に入りの一冊となりました。ネットやSNSから少し離れてお気に入りの一冊に向き合ひ、心安らぐひとときを気ままに過ごす時間も大切にしていきたいですね。



○池川 千紗  
○入社1年目の新人

